

被災者支援プロジェクト第5弾が無事に終了しました

今回は4家族を安芸太田町に招待し、11月12日・13日に開催しました。

五サー市、吉水園、つつがふるさとまつり、三段峡などで町民の方々とふれあい、宿泊は上殿地区の住民の皆さんのご協力により民泊体験をしました。

それぞれ思い出深い一夜となったようで、翌朝にはすっかり打ち解けていました。「久しぶりにのんびりできた。」と言われる方もいました。

何度も繰り返してしまいましたが、やはり安芸太田町には人を癒すことができる「何か」があると思います。「特別」なことはしなくても、十分に癒すことができる。これが大切なことだと思います。



VISIT JAPAN トラベルマート商談会に参加しました



町内観光の弱点の一つである外国人旅行者長期取り込み戦略の一つとして、日本最大級の海外人旅行商談会に観光協会として初めて職員を派遣しました。

膨大な英語版資料を整理するにあたり、町民の有志の方にお手伝いいただき、11月22日・23日の2日間で13社の旅行会社と6社の雑誌社との商談に臨みました。そのうち観光協会として戦略的にパートナーシップを構築したいと願っていた3社との継続交渉が見込めることになりました。

外国人旅行の本格的取組みは、平成25年度から開始しますが、予備交渉は2年前から通常行います。国際的なビジネスは、確かな戦略と長い準備が必要であることを改めてご理解ください。

筒賀中学校の皆さんとのジョイント企画 「筒賀の大銀杏ライトアップイベント」を開催しました

11月12日、午後6時から、つつがふるさとまつり連動企画である「筒賀の大銀杏ライトアップオープニングイベント」を筒賀中学校3年生と一緒に開催しました。

テーマは『頑張ろう日本・頑張ろう筒賀』とし、筒賀の大銀杏から「頑張ろう」を発信することとしました。

当日は、広島市から被災者家族4組を招待しており、民泊先の上殿地区の皆さんとともにご覧いただきました。

イベントではライトアップのカウントダウンから始まり、マルモリダンス、はじまり三重奏、大銀杏から被災地への手紙披露、「ふるさと」を来場者と共に大合唱で締めくくりました。「ふるさと」合唱の折には、感動のあまり涙する方も見受けられました。

なお、当日は約300人のお客様にお越しいただきました。NHKおよびRCCがその模様を報道され、2社合計で約7分の報道がありました。(広告効果約144万円)



今回もさまざまな地区や皆さんのご協力を得て協会活動が遂行されました。心より感謝申し上げます。